

市立中学校の紹介

(生徒数・学級数は、令和3年5月1日現在)

学校紹介の内容

- ＜教育目標＞
- ＜研究主題＞
- ＜重点教科等＞
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞

- (1) キャッチフレーズ
- (2) 取組内容
- (3) 成果

など

草加中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 23 学級 校長 中村 常雄
生徒数 794人 教頭 佐藤 勝
森 寿義



- ＜教育目標＞
目標を持ち努力する生徒
- ＜研究主題＞
・指導方法の工夫改善を行い、生徒一人ひとりを伸ばし育む
- ＜重点教科等＞
全教科・全領域
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 - (1) 生徒の目指す学校（スローガン）「あ・か・つ・き」の実践
あ・・・明るい あいさつ（規律）
か・・・活発な かつどう（自主）
つ・・・強い つながり（友情）
き・・・今日を きり開く（向上）
 - (2) 取組内容
 - ①「いまをたくましく生きる」ための確かな学力を育む学習指導
 - ②「いまをたくましく生きる」ための生徒指導
 - ③幼保小中を一貫した教育の推進
 - ④地域とともにある学校づくりの推進
 - ⑤「いまをたくましく生きる」ための健康教育・安全教育の充実
 - ⑥多面的・多角的に考える生徒を育む道徳教育の推進
 - ⑦ノーマライゼーションの視点を持つ特別支援教育の充実
 - ⑧「いまをたくましく生きる」ための進路指導の推進
 - (3) 成果
○生徒一人ひとりが向上心を持ち共に協力し合う学校が醸成されている。
○基礎基本の定着・部活動の活躍など文武両道を実践している。

栄中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 17 学級 校長 今泉 正之
生徒数 527人 教頭 朝比奈 智



- ＜教育目標＞ 自ら学び考え行動する生徒（知）
豊かな心を持ち思いやりのある生徒（徳）
健康でたくましい生徒（体）
- ＜研究主題＞
自己肯定感・自己有用感をはぐくむ授業の創造
～栄中学校区幼保小中を一貫した教育・
教育コミュニティづくり～
- ＜重点教科等＞
全教科、全領域
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
「いいとこ探しの学校」
- (1) キャッチフレーズ
【さ】爽やかなあいさつ 【か】輝く笑顔 【え】英気あふれる
- (2) 取組内容
 - ①各教科の基礎・基本の定着及び確かな学力の向上
・補充学習 ・言語活動の充実 ・ICT機器の活用
・主体的・対話的で深い学びの確立に向けた授業改善
 - ②生徒指導の充実
・あいさつ ・言葉づかい ・規範意識 ・授業態度
 - ③学校行事の充実
・目標の明確化 ・体験活動の推進 ・ボランティア活動
 - ④環境教育の充実
・清掃活動 ・緑化活動 ・リサイクル活動 ・さかえ農園
 - ⑤豊かな心の育成
・いじめ、暴力の根絶 ・人権、命の尊重 ・道徳教育
- (3) 成果
○幼保小中を一貫した教育の推進により、「学力向上プラン」の質が高まり、各種調査結果に向上が見られた。
○ボランティア活動に積極的に参加することで、学校・家庭・地域との協働が推進された。

谷塚中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 21 学級 校長 本間 錦一
生徒数 652人 教頭 市村 耕治



- ＜教育目標＞
学び合う生徒（知） 思いやる生徒（徳） 高め合う生徒（体）
- ＜研究主題＞
生徒の主体的・対話的で深い学びの実現にむけた授業づくり
～生徒一人一人の自己肯定感、有用感の育成に向けて～
- ＜重点教科等＞ 全教科・全領域
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 - (1) キャッチフレーズ（学校経営方針）
「生徒、教職員、保護者、地域が誇りに思う谷塚中学校」
努力が喜びとなる学校 安心、安全で規律のある学校
信頼されるよき校風のある学校
 - (2) 取組内容
 - ①「わかる授業」による確かな学力の育成
・数学（1年）、英語（1年）のTT指導の充実
・授業力向上を中心とした研修の充実
・家庭学習ノート等を活用した学習習慣の確立
・校区学校間の授業規律の統一及び小中を一貫したカリキュラムの導入
 - ②学校間連携を図ったキャリア教育の充実
・谷塚小、氷川小、草加南高校との連携、交流
 - ③地域社会との交流を通じた豊かな心の育成
・地域、保護者の人材を生かした教育活動
・部活動指導の充実
・地域行事の積極的な参加
・あいさつ運動、学校公開等の実施
 - (3) 成果
○地域や学校間の連携等や交流活動により、生徒会活動の充実、さわやかなあいさつ、授業規律の定着、授業への積極的な参加、話し合い活動の充実、家庭学習の充実が図られた。部活動の積極的な参加が促され、大会・コンクール等により成果を上げることができた。

川柳中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 15 学級 校長 車 浩
生徒数 450人 教頭 江口 和彦



<教育目標>
賢く 優しく 逞しく

<研究主題>
「力強く未来を切り拓く生徒の育成」
～学校組織全体で進める授業づくりを目指して～

<重点教科等> 全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>
(1) 目指す学校像
『自ら学び、心豊かで、逞しく生きる生徒と、それを支える教育愛に満ちた教職員が集う、保護者・地域とともにある学校』

(2) 取組内容
①「主体的、対話的で深い学び」の視点での授業改善と学習習慣の確立による学力の向上
・「授業の5か条」「学びの5か条」を基にして、学校組織全体で授業改善を図る。
・読書活動を通じて「知」を育てる。学校図書館で年間6冊以上借りる生徒の割合90%以上を目指す。
②生徒を認め、鍛え、育む中での豊かな心と逞しい体の育成
・全教職員の共通理解に基づいた校内生徒指導体制を確立し、校内規律・授業規律（授業規律の5原則）を徹底し生徒の望ましい生活習慣を育成する。
③幼保小中を一貫した教育の推進
・幼保小中連絡協議会を組織し、目指す子ども像、幼保小中15年間を通した教育課程を編成する。

(3) 成果
○全校生徒が落ち着いた学校生活を送っている。
○アンケート等で、『授業はわかりやすく、楽しい』と答える生徒が90%を超えている。
○学校生活全般にわたる「自己肯定感の向上」を目指した取り組みが主体的な活動姿勢につながっている。

新栄中学校

創立年月日 昭和49年4月1日
学級数 21 学級 校長 大野 正浩
生徒数 651人 教頭 土谷 守人



<教育目標>
自ら学ぶ生徒 ～意欲的な学習・学力向上・進路実現～
思いやりのある生徒 ～人の気持ちがわかる生徒～
健康でたくましい生徒 ～規則正しい生活と心身の健康～
正しい行動のできる生徒 ～規律を守り行動に責任を持つ～

<研究主題>
学力向上と主体的に学びに向かう力の育成

<重点教科等>
全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「A・K・Bの新栄中」（あいさつ・活力・勉強の新栄中）

(2) 取組内容 ～よりよく生きる力の育成
①朝読書 基礎基本を重視した授業、基礎学力テスト
授業6ヶ条、英語検定、漢字検定、学習相談
②PTAと連携した朝のあいさつ運動
環境教育（綾瀬川ビオトープ保護活動、野鳥観察会）
全校で協力して取り組む行事（体育祭、文化祭）
③基礎体力づくり 種目選択体育授業・活発な部活動
④社会性・スキル教育 体験型学習
⑤中高の連携ーリトルティーチャーによる書写・理科等の教科での草刈西高等学校との交流
⑥幼保小中を一貫した教育の推進（乗り入れ授業の実施、合同研修会、幼保小中地域連絡協議会）

(3) 成果
○朝読書や授業を通して基礎基本の定着及び学力の向上が図れた。今年度も引き続き「読書活動の充実」を目指す。
○環境教育やスキル教育の実践により、豊かな心や社会性が着実に身に付いてきている。

瀬崎中学校

創立年月日 昭和51年4月1日
学級数 21 学級 校長 飯島 隆
生徒数 697人 教頭 神田 研二郎



<教育目標>
自らの生き方を考え、実践する生徒の育成「よりよく生きる」
「ま」・・・学び続ける生徒
「つ」・・・強い体をもつ生徒
「な」・・・仲間を思いやる優しい心をもつ生徒
「み」・・・みんな仲良く笑顔あふれる生徒
「き」・・・希望をもち夢に向かって努力する生徒

<研究主題>
○確かな学力と豊かな心を育成し、たくましく生きる生徒の育成
～自己肯定感・自己有用感を育む授業改善を通して～

<重点教科等> 全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>
(1) ①あいさつ日本一 ②響きわたる合唱 ③心を込めた清掃 ④活力ある部活動
⑤一人ひとりのよさ・違いを認め合う学校

(2) 主な内容
①幼保小中を一貫した教育に係る交流の推進、小中乗り入れ授業による体育授業交流、他授業見学等
②生活習慣の定着
【授業の5原則】 ・授業の用意をして待つ ・チャイム着席 ・あいさつしっかり ・忘れ物をしない ・むだ話をしない
③基礎学力、学習態度の定着
・一人ひとりの学力の伸びの状況把握・一人ひとりに活躍の場面、出番をつくる
・日々の規律と授業を一番大切にする・ワークシート・小テスト等の内容の工夫等
・少人数、T-T、学習補助員、学習形態の工夫
④教育環境の整備
・あいさつ運動（生徒・職員・保護者での愛の一声運動）、ボランティア活動（高齢者運動会）、瀬中宣言にもとづく生徒会と専門委員会活動、放課後の無言清掃

(3) 成果
○昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどの学校行事や地域の方々とのふれあいをする事ができなかつたが、感染症予防対策や朝の健康観察・消毒活動、清掃活動を工夫など生徒と教員が一体となって取り組んできたことで、優しさと思いやりある心を養う態度が育ってきている。それらの経験が感染防止対策を考慮した行事運営に結び付けることができた。そして生徒自ら知恵をしばり自ら努力したことを学校や地域によりよい役立てていこうとする力が育ってきている。

花栗中学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 13 学級 校長 山根 明
生徒数 356人 教頭 小野 陽子



<教育目標>
「自ら考え、心豊かに、たくましく生きる」
学力を伸ばす生徒（知）
豊かな心を育てる生徒（徳）
心身共に健康な生徒（体）

<研究主題>
「言語活動を充実し、生徒一人ひとりが主体的に取り組む授業、諸活動」
・わかる授業の推進と基礎学力の定着
・課題解決能力をもった生徒の育成
・豊かな心を育む道徳の時間の充実

<重点教科等> 全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「夢 ふれあい 感動のある学校 花栗中学校」
～ 地域と共にある学校づくり ～

(2) 取組内容 幼保小中を一貫した教育の推進
①学習指導の充実
・言語活動の充実と課題解決能力の育成
・授業規律の確立、家庭学習を習慣化させる取組
②生徒指導・教育相談の充実
・「目をかけ、手をかけ、声をかける」指導の促進
・メンタルヘルス研究推進校（R3～R5）
③豊かな心を育む教育の推進
・生きる力4カ条の実践・道徳教育の充実・読書活動の充実

(3) 成果
○多くの体験活動や地域との触れ合いを通して、生徒は心豊かに活動し、授業にも主体的に取り組んでいる。

両新田中学校

創立年月日 昭和54年4月1日
学級数 16 学級 校長 及川 祐一
生徒数 474人 教頭 綿貫 稔



<教育目標>
【自ら学び 心豊かに たくましく】
自ら学び(知)～自分の考えをもつ 正しく判断し行動する 目標をもち努力する
心豊かに(徳)～互いのよさや努力を認め合う 態度や行動に示し主体的な実践をする
たくましく(体)～困難を克服する力や健やかな体の育成 規律正しい生活習慣を確立する

<研究主題>
【生徒一人ひとりを大切に、夢と絆を育む学校】
・学ぶ楽しさを味わわせる授業実践《わかる授業の実践》
・道徳教育の推進《考え議論する道徳の推進》
・自己肯定感を育てる指導の充実 《褒める 認める声かけ等の積極的な生徒指導》
・いじめのない学校《あいさつ運動の励行 生徒への温かな言葉かけ》
・幼保小中を一貫した教育の推進《15年間を見通した教育課程の編成と実践》

<重点教科等>
全教科・全領域
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
【生徒一人ひとりを大切に教育と家庭・地域に信頼される両新田中】
(2) 取組内容
・一人ひとりに基礎基本を身に付ける～生徒理解に基づく指導と評価の実践
・一人ひとりのよさ 可能性を引き出す～内在するものを引き出す教育力
・一人ひとりの命と健康を守る～共助の学びと絆づくり、安全な学校
(3) 成果
・昨年度実施した保護者の学校評価の「生徒一人ひとりを大切に育てる」の項目では、達成状況が約90%と高い評価を得ることができた。また、生徒に実施したアンケートでは「授業は楽しく、分かりやすかった」と答えた生徒は約80%であった。今年度も継続して教職員の授業力の向上を図り、生徒に基礎基本を定着させていく。

新田中学校

創立年月日 昭和55年4月1日
学級数 17 学級 校長 小林 和広
生徒数 495人 教頭 橋本 哲



<教育目標>
豊かな心と学ぶ意欲をもち 広い世界でたくましく生きる生徒

<研究主題>
探求心・共生心・自立心を育む幼保小中一貫教育の実践
～主体的・対話的で深い学びの実現/社会に開かれた教育課程の実現～

<重点教科等>
全教科・全領域
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) めざす学校像
大きな夢 明るいあいさつ 美しい心 きれいな学校
(2) 取組内容
1、学ぶ意欲が向上する学校
◎主体的・対話的で深い学びの追求
◎基礎基本の習得と活用
◎一人ひとりのフォローアップの充実
2、豊かな心が育成する学校
◎美しい教育環境が整った学校を教職員と生徒で創造
◎読書活動の充実 ◎特別活動の充実
◎特別の教科 道徳の授業の充実
3、新進が健康でたくましい生徒を育成する学校
◎保健体育・性教育・安全教育・防災教育の推進
◎生徒に寄り添った生徒指導・教育相談の充実
◎不登校の減少の取組 ◎体育授業、部活動での体力向上
4、中学校区の幼保小中が連携した学校
◎幼保小中を一貫した教育下の「草加っ子夢プラン」研究の推進
◎ペアスクールとしての絆を深めた「自己有用感」を実感させる教育活動
◎幼保小中一貫した授業研究の実施
◎地域懇談会・学校協議委員会の充実した運営
(3) 成果
○様々な学習活動・体験活動を通して、生徒の学ぶ意欲と豊かな心がいつそう育まれてきている。また、生徒一人ひとりが事故存在感・自己有用感を感じてきている。

青柳中学校

創立年月日 昭和56年4月1日
学級数 16 学級 校長 笠井 誠司
生徒数 496人 教頭 北井 宏征



<教育目標>
○自ら考え実践する生徒(知)
○心豊かで思いやりのある生徒(徳)
○健康でたくましい生徒(体)

<研究主題>
学ぶ喜びを味わわせる授業の創造
～学級校経営を基盤として～

<重点教科等>
特別活動・生徒指導・教育相談の充

<特色ある学校づくりへの取組>
(1) 青柳中学校区の目指す「児童生徒像」
自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童生徒
(2) 取組内容
①自ら考え実践する生徒を育成する授業改善
・主体的・対話的で深い学びの追求
②心豊かで思いやりのある生徒を育成する活動の充実
・生徒会活動・学校行事の充実
③健康でたくましい生徒を育成する生徒指導の推進
・生徒理解に基づく生徒指導・教育相談の充実
④幼保小中を一貫した教育の研究と実践
・小中学校間での情報共有と連携による効果的な指導の実践
⑤地域とともにある学校づくりの推進
・学校運営協議会を中心としたコミュニースクールの実施
(3) 成果
①基礎基本が定着したことにより、深い学びにつなげることができた。
②行動規範が身につく、コミュニケーションを良好に保つことができた。
③部活動に積極的に参加することで心身の健全な発達が図られた。

松江中学校

創立年月日 昭和60年4月1日
学級数 14 学級 校長 遠藤 淳一
生徒数 421人 教頭 高安 健次



<教育目標>
ま：学ぶ意欲のある生徒 < かしこさ >
つ：強い心と体をもつ生徒 < たくましさ >
え：笑顔あふれる生徒 < あたたかさ >

<研究主題>
自ら学び、共に高め合う児童生徒の育成
～各教科の指導と評価の一体化を通して～

<重点教科等>
全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
子どもが誇りのもてる学校に ～『松中プライド』の育成を～
(2) 取組内容
①生徒へ達成感と充実感
・教師一人ひとりの授業力の向上
・集団活動を通じた豊かな人間性の育成
②子どもの居場所づくり
・共感的な人間関係の育成
・教育環境の整備
③「幼保小中を一貫した教育」の推進
・幼保小中一貫教育の推進と小中教科指導と評価の一体化の研究
・小中合同研修会の実施
(3) 成果
○保護者・地域の方々の協力と理解を得て、教職員が丸くなって「子どもが誇りのもてる学校」創りを推進している。
○生徒個々に知・徳・体のバランスのとれた基礎力を身につける教育を充実させている。